

# 簡易雑音端子電圧測定システム

## 雑音端子電圧測定をリーズナブルに

本システムは雑音端子電圧測定システムで使用するEMIレシーバーをスペクトラムアナライザにすることで、簡易的に雑音端子電圧の測定ができるシステムです。安価なスペクトラムアナライザを使用する事でリーズナブルにシステムを導入できます。「簡易でよいので確認できる設備が手元に欲しい!」「プリチェック用の設備が欲しい!」というお客さまにおすすめのシステムです。雑音端子電圧測定システムは、供試品の電源線から流出する伝導性ノイズの強度を測定・評価するシステムです。シールドルーム内に設置された供試品からの伝導性ノイズを擬似電源回路網で検出し、スペクトラムアナライザで周波数および強度を測定します。

- CISPR、VCCI規格など各種規格の雑音端子電圧測定が簡易的にできます。
- 簡易での雑音端子電圧測定がローコストでできます。
- ソフトウェア制御で操作が簡単です。
- 初心者の方でも簡単にセットアップから測定までできる手順書つき
  - 測定時に試験品などのセットアップが簡単にできます。
  - 測定開始前、システム全体の始業前点検ができます。
  - システムの不具合発生時にも問題箇所の確認ができます。
- グラウンドプレーン、測定テーブルなどオプションもご用意しています。

### 概略仕様

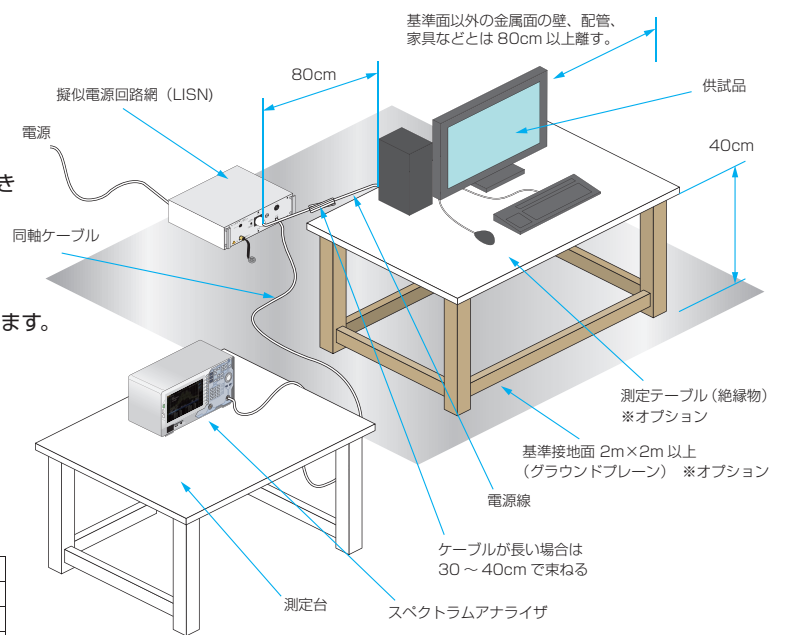
項目	仕様
測定周波数範囲	150kHz~30MHz(※)
代表的な規格	CISPR11/14-1/22/32、VCCI、電気用品安全法など
推奨環境	電波暗室、シールドルーム

※ 測定周波数範囲、RBW、VBWなどは固定となります。

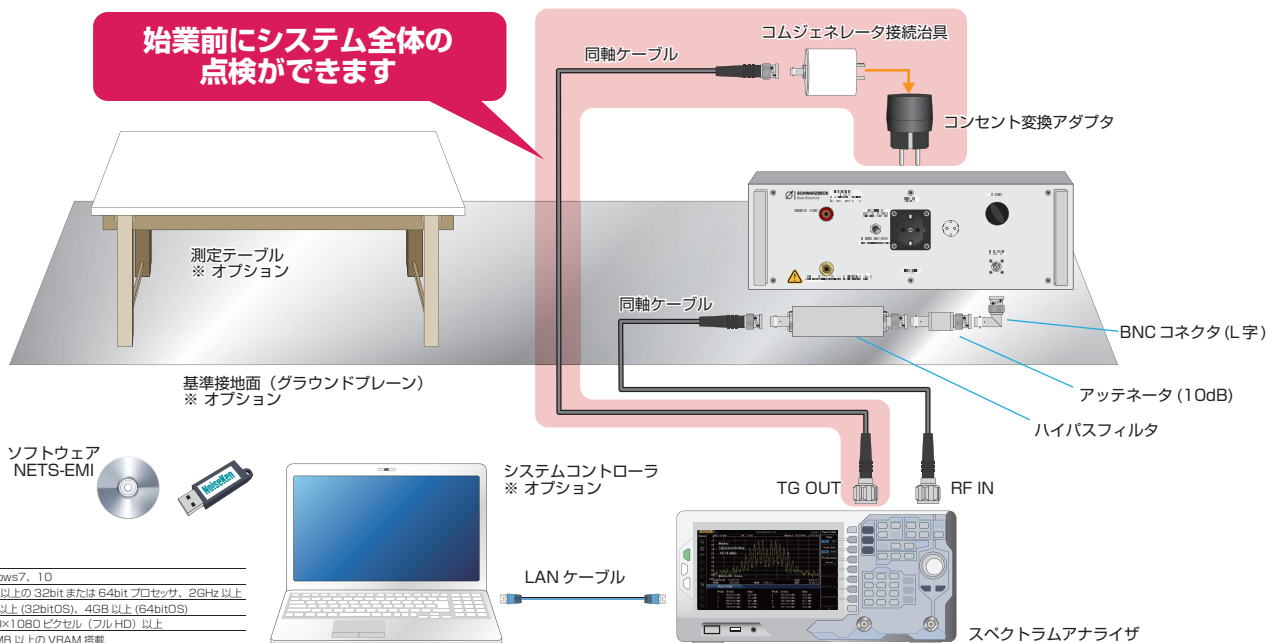
### 測定検波 / トレース

Mode	PK		QP		AV	
	検波	トレース	検波	トレース	検波	トレース
スキャン測定	PK	MAX	N/A	N/A	PK	AV(Video)
最終測定	PK	MAX(※)	QP	MAX(※)	N/A	N/A

※ 周波数を絞り込み後、ゼロスパンで測定を行います。



### システム構成イメージ (始業前点検構成)



推奨制御用PC

項目	仕様
OS	Windows7、10
CPU	2コア以上の32bitまたは64bitプロセッサ、2GHz以上
メモリ	3GB以上(32bitOS)、4GB以上(64bitOS)
画像解像度	1920×1080ピクセル(フルHD)以上
グラフィック	256MB以上のVRAM搭載